

第15回今帰仁グスク桜まつり



もくじ

- 一般質問と答弁 2 p
- 議決結果・賛否一覧表 13 p
- 決議・意見書 14 p
- 題字応募作品 15 p
- 現場踏査・自治功労章
議会傍聴・編集後記 16 p

将来の夢

将	興	や	ろ	ち	か	た	ろ	で
来	味	と	な	か	い	と	に	す
の	か	く	魚	ら	る	き	船	く
夢	あ	ち	を	船	の	い	に	な
は	つ	よ	つ	を	か	海	の	ぜ
漁	た	う	つ	出	な	に	つ	な
師	か	を	て	し	あ	は	て	ら
で	り	知	魚	て	し	ど	魚	小
す	ぼ	る	の	い	と	ん	を	さ
	く	の	名	ろ	思	な	つ	い
	の	に	前	り	つ	魚	つ	こ
								師



題字執筆者紹介

天底小学校6年

田島 風太郎



12月定例会

会期日程 (12月13日～1月21日)

10名が一般質問しました 12月14日・16日・17日・1月21日 (通告順)

P3	與那嶺 透	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 村内の光ケーブルの整備状況について ❷ 旧村立保育所及び旧村立幼稚園の跡地利用について
P4	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 県民所得について
P5	座間味 邦昭	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 村長の重点施策である自主財源の確保について
P6	嘉陽 崇	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 漂流漂着軽石対策について
P7	上原 祐希	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 行財政改革について
P8	玉城 みちよ	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 村民に優しい施設の改善について ❷ 北山高校への持続可能な取り組み支援について ❸ インフルエンザ予防接種について ❹ 農水産業担い手支援住宅整備について
P9	吉田 清尊	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 軽石の早期除去と古宇利漁港・運天漁港の施設整備促進について ❷ 新村立図書館と児童館の創設実現で心豊かな今帰仁村について ❸ 仲宗根地区の道路と排水路整備工事を促進することについて ❹ 役場会計年度任用職員の給与・賃金の引上げと待遇改善を
P10	與儀 常次	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 慰霊塔施設「平和公園(仮称)」の改修工事について ❷ 軽石の撤去について ❸ 北山高校駅伝部について
P11	島袋 誠	<ul style="list-style-type: none"> ❶ コミュニティスクール(学校運営協議会) 設立にむけて ❷ 本村における地域情報発信・行政情報発信について ❸ 本村におけるハブ対策事業について
P12	山城 太	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 農業振興について ❷ 県高校駅伝について ❸ 民家等からの排水処理について ❹ タイワンハブについて

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。
詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。



與那嶺 透 議員

問1 村内の光ケーブルの整備状況

今年度中に村内未整備地域の整備を目指すといった進捗状況は。

答 村長

令和3年7月から8月にかけて基本・詳細設計、令和3年9月から令和4年3月上旬までに工事完了のスケジュールで、整備を実施するとNTT西日本から提示されており、現在、スケジュールに遅れはないとの報告を受けている。

答 総務課長

今泊、与那嶺、平敷、呉我山、天底、湧川、渡喜仁、上運天、運天のそれぞれ一部、その

他光ブロードバンドサービスを受けることができない地域だとNTT西日本から示されている。

問 これらの地域は集落がある地域なのか、それとも集落から離れている地域なのか。

答 総務課長

詳細については提示できないという事ではあったが、基本的には電話回線の引かれていない地域については全て整備していくとの回答を得ている。

問 整備後は個人でルーター等を設置して利用することになるが、村として、観光事業者やサテライトオフィスを検討している企業等に

設置するための支援などがあれば、新たに起業しやすくなると思われるが、見解は。

答 総務課長

光を整備することで、村内でいろいろな可能性が広がっていくものと考えている。今後の検討課題である。

問 経済の振興、観光産業の発展につながるべくと考える。前向きな検討をしていただきたい。

答 村長

今後、経済はもとより教育、福祉、防災などの分野で情報通信技術を利用した村民サービスが実現できるものと理解している。支援策についてはしっかりと調査研究していく。



問2 旧村立保育所及び幼稚園の跡地利用

旧仲尾次保育所、中央保育所、仲宗根保育所、また、旧兼次幼稚園、今帰仁幼稚園、天底幼稚園の跡地利用はどのように考えているのか。

答 教育長

現在、旧中央保育所については、郵便型一般競争入札で売却の手続きに入っている。旧仲尾次保育所、仲宗根保育所については、今帰仁村公共施設等総合管理計画に基づき売却処分を前提に作業を進めている。旧村立幼稚園については学校用地を通らなければならず、連絡道確保等の問題があり、現段階において具体的な利用計画はない。

問 旧中央保育所について、応募対象となる業種は限定されているか。

答 企画財政課長

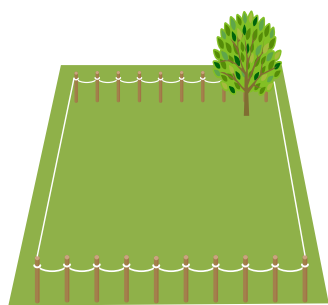
入札参加者の資格という

ことで、村内にある福祉事業所であるということと、福祉事業の実績が3年以上であることを条件としている。

問 今回の旧中央保育所の跡地利用の結果についてメリット、デメリットが出てくるはず。それをしっかりと精査して次につなげていくのが大事である。企業誘致やサテライトオフィスの誘致等にもつながれば雇用も生まれるし、村民所得の向上にもつながっていくと考えているが見解は。

答 企画財政課長

課題の精査や、良い点悪い点を踏まえて、財産の売却い処分に関してはその都度整理しながら委員会で審議をして決定していきたい。





與那 勝治 議員

問1 県民所得

低い水準の要因は何なのか、この結果を受けて率直にどう考えるか。

答 企画財政課長

県のほうにも今帰仁村の状況を分析していただいているが、はつきりとどこを改善すれば順位が上がるといふ提案はいただいていない。

問 私は財産所得、企業所得が低くなる傾向にあると思うが、雇用人報酬が125万2,433円で、もう既に最下位だった。下から2番目が大宜味村で126万5,609円。差額が1万3,176円。そ

の他統計も大宜味村と比較させてもらったが、財産所得では本村が8万4,180円。大宜味村が11万2,724円。企業所得では本村が44万689円。大宜味村が63万3,142円。トータルで本村が1,777千円、大宜味村が2,011千円。234千円の差がある。本村で就業者数が一番多いのが農業で、農業の総生産÷就業者を独自に計算した結果174万3,000円。大宜味村も主要産業が農業なので総生産÷就業数で計算すると347万5,000円とかなりの差があった。主要産業が農業だから低いということはない。各産業分野もそれぞれ

検証しなければいけないが、農業がリーディング産業であるので農家の数や農作物の種類、単価、生産量など、専門家をつけ他自治体と徹底的に比較して頂きたい。

答 副村長

本村の強みである農業について、今以上に稼げる農業を作り出すことは大変重要だと認識している。今後の農業振興を考えた場合、農業政策に精通した人材を確保していく必要がある。

問 農業立村を確立するには素人では難しく、専門家の存在は大きい。どのような方を検討しているのか。

答 副村長

具体的な話は申し上げることはできないが、農業関連の分野や地域振興に携わり、実際に政策的なことを行っている人が良いだろうと打診をしているところだ。

問 所得の上振れを期待する動きとして、今帰仁村でも

撮影が行われているNHKの連続テレビ小説「ちむどんどん」がある。この「ちむどんどん」を生かした取組をどのように考えているか。

答 副村長

本村が一つのロケ地として選定されたことは、コンテンツツーリズム構築の観点から、経済効果を生み出す千載一遇のチャンスと捉え、しっかりと行政も関わっていききたい。

問 「ちゅらさん」以来、沖縄が盛り上がるのではないかと期待が膨らむ。今帰仁村も負けじとPRしていただきたい。

答 村長

ドラマのロケ地を聖地だと発信して観光客を呼び込む。具体例として「あまちゃん」があり、ロケ地がファンの聖地となり、対前年比1.5倍の観光客が入域したという事例がある。NHKの方よりロケツーリズムで活

性化できるチャンスは幾らでも今帰仁村は持っているというお言葉もいただいた。今後も可能な限りロケ誘致をしていきたい。

議会だより「なきじん」の題字を募集します。



今帰仁村内小学校のみなさん、あなたの文字をお待ちしております。

題字募集

題字募集のサイズ
たて4cm×よこ17.8cm
ひらがな横書き



お問い合わせは、今帰仁村議会事務局 (☎56-4397)まで



座間味 邦昭 議員

問1 自主財源の確保

ふるさと納税の前年度と今年度の実績の対比は。

答 村長

前年度11月までの実績と今年度11月までの実績の対比について、寄付金額については前年度比86%、寄付件数では84%となり、令和3年度の実績は前年と比べ減少している状況。

問 村長は、ふるさと納税額を5億円にすると目標を掲げているが、まず、就任1年目ということで前年度の実績を落とさないような努力をしながら、次年度以降、村長の掲げた目標金額を達成するために、どのように

取組んでいるのか。

答 企画財政課長

新たなサイトの立上げや、地下鉄での広告を利用したり、またメールマガジンによって寄付者に対して活用状況を報告し理解をもらいながらリピーターにつなげていければと考えており、その辺をPRして行きたい。

問 次年度以降の取組に関し、PRの在り方等の提案をお伺いし、当然大切な取り組みだと思う。ただ、目標5億円を達成するためには、新たな商品開発などの取組みが話し合われているのか。

答 副村長

新たな商品開発はとても

大事だと思う。商工会や観光協会と密に調整しながら次年度以降新しい魅力ある商品を生み出していきたい。

問 納税を上げるといことは、企業でいうと売上を上げる。それには必ず投資が必要。何も投資もなく勝手に売上が上がる、納税が上がるということはずり得ない。魅力的な商品を作つていくためには、地場産業の育成はとも必要であり、そういったものを生み出せるような仕組みに対しては投資も必要だと思いが、村長の見解を伺う。

答 村長

今後魅力ある商品開発にしっかりと取組んで投資育成にも前向きに全庁を挙げて取組んでいきたいと思う。

問 企業版ふるさと納税やクラウドファンディングを活用した事業展開を掲げているが進捗状況は。

答 村長

企業版ふるさと納税に関しては、地域再生計画を策定し、内閣府から認定を受けて進めていく。クラウドファンディングについては、軽石対策のプロジェクトを立ち上げ令和3年12月16日に実施する。

問 自主税源の確保について改めて具体的に伺う。

答 村長

本村の使用料等改定に取組み、また、行政利用が見込めない土地の処分を行う。

問 自主財源の一番は村税であり、村税の確保は、村民所得の向上である。村民所得のデータが示す数字には必ず根拠がある。そのデータが示す一番のポイントは、失業率。本村は県内でも2番目の失業率の高さである。若者の雇用の場の確保や高齢化社会の中で老後の副収入の確保、例えば民泊等の充実、さらに農業に関しては、一人当たりの農業生産額は140万円位

を推移し、今帰仁の農業に類似している豊見城市の農業は130万円となっており、10万円ほど高いが手取り感として低く感じるものは、市場の距離が遠く輸送コストの問題があるのではないかとデータからひも解くことができる。国勢調査の結果も村の財源に影響を及ぼすデータであり、定住人口8,600名という数字が出たのは衝撃である。数字やデータからひも解くと本村の強さ、弱さが見えてくる。その数字からひも解いた答えを導き出していない、ターゲットを絞っていない、目標を定めていないところに原因があり、村民所得の最下位をいつまでたっても脱せないと思うが見解を伺う。

答 村長

村民所得、人口減少、失業率の問題は大変大きな行政課題であると認識している。これから策定される第5次総合計画の中でしっかりと各種施策に全庁、全村民を挙げて取組んで行く。



嘉陽 崇 議員

問1 漂流漂着軽石対策

現在村内で実施または予定している事業の内容（予算額・実施箇所・実施方法について）伺う。

答 村長

現在村内で実施または予定している事業内容については、令和3年8月に発生した福徳岡ノ場（ふくとくおかのば）噴火による沖縄県沿岸への軽石漂着被害は、漁業をはじめとする様々な業種へ深刻な影響を及ぼしている。

村としては、漁船などの船舶航行の支障となる漁港内に流入した軽石について迅速な対応が必要と考え、現在、災害復旧事業による応急工事を進めている。同事業に

よる応急工事契約額として、1,699万5,000円、

工期は令和3年11月24日から令和4年2月21日、工事場所は運天漁港内、工事内容は軽石の撤去、処分、侵入防止策を施行する。

答 村長

また、災害復旧事業に該当しない漁港海岸へ漂着した軽石については、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業を活用し回収等を行う計画をしており、その予算額については2,846万円を計上している。

問 軽石の影響を受けた事業者への収入確保について伺う。

答 村長

軽石で影響を受けた事業

者への収入確保については、現在進めている災害復旧事業及び沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業を着実に進めるとともに、影響を受けた事業者への支援についても、漁業組合をはじめとする関係機関と連携し、国や県へ強く要請を行う。

問 新年度予算編成について伺う。

答 村長

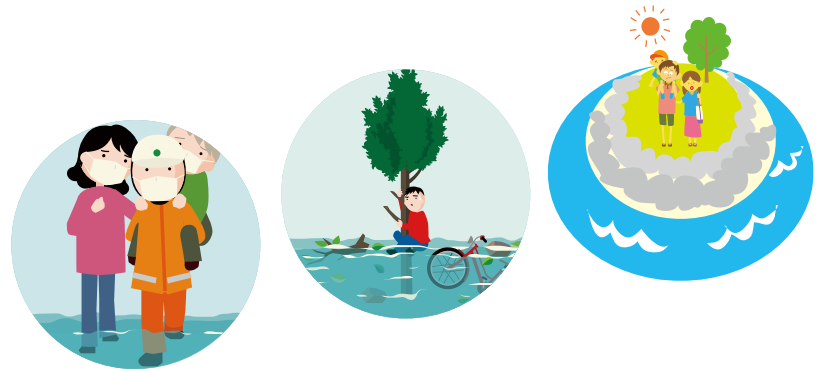
今後、次年度予算の調整を進める中で、国や県の指導及び助言を賜りながら緊急時に対応可能な予算の確保に努める。

問 今回の状況は災害レベルだと考える。今後台風等の災害が予想される。そうした災害に備えた災害対策協議会の設置が必要だと考えるが。

答 村長

議員提案の災害対策協議会の設置ということであるが、昨今の気象状況からも

大変憂慮される状況に來ているのではないかと懸念もある。そして今問題になっている軽石災害においても経済あるいは社会活動において大きな打撃を受けている状況であるので、災害対策協議会の設置については課長会において議論をして、調査研究をしっかりと行い対応していきたいと考えている。



令和4年3月定例会 会期予定 令和4年3月7日(月)~22日(火) 一般質問16日(水)~18日(金)予定

議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

平素より村議会に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。議会の傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から以下の点について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 受付時に検温を行い、検温の結果、体温が37.5度以上の場合、また、咳や体調不良等の症状がある場合は、傍聴をご遠慮ください。
- ② 傍聴される前に手指の消毒、及びマスクの着用をお願いします。
- ③ 傍聴時には間隔をあけて着席してください。なお傍聴者数が多い場合、入場を制限させていただくことがあります。
- ④ 万が一議会で感染者が発生した場合に備え、ご本人に速やかに連絡する必要があるため、傍聴の際にご記入いただく「傍聴受付票」に電話番号の記載をお願いします。



上原 祐希 議員

問1 行財政改革

農政の専門家配置は農産物の質の向上を含めたブランド化、所得向上を図る上で重要と考えるが見解を伺う。

答 総務課長

村長が就任してからの施策として掲げている部分で力を注いでいくにあたり、専門職が必要となれば検討していく。

問 外部委託できる部分はどんどん行い、事務の効率化を図るべきと考える。その中で、うるま市や名護市など窓口業務の民間委託を行っている。住民への業務サービス向上を含め、質の

向上を行いながらコストの削減まで実現させたと聞く。今後新庁舎建設に向け検討出来ないか伺う。

答 総務課長

新庁舎に向け、各種手続きのワンストップサービスなどお客様の利便性、満足度向上を目指している。メリツト、デメリツト含め、名護市などからも聞き取りしながら検討していく。

問 コロナ禍もあり、社会全体が大変な変革期の中で、行政サービスの柔軟性が重要。縦割りではなく、横断的な対応、柔軟性のある対応を全国の先進事例を研究しながら取り入れ、今後の住民サービス向上にむけ取

組んで頂きたい。見解を伺う。

答 総務課長

課や職員間での横断的な対応は必要になってくる。今帰仁村に合うやり方を協議しながら検討していく。

問 村の抱える課題として、財政的な部分や経済的な部分、所得も県内最下位であり、それに伴い自主財源の

根幹である税収も低い。教育や村民福祉サービスを行うにあたり、財政基盤が基礎になる。その脆弱な財政基盤をいかに強化するかといった場合に、自主財源確保の為の外貨を稼ぐふるさと納税や、来年度から取り組む企業版ふるさと納税が重要になってくる。その更なる強化を目指した課の再編を含めた取組みが必要と考えるが、見解を伺う。

答 企画財政課長

令和4年度から企業版ふるさと納税の導入を予定している。平成27年度から開

始したふるさと納税の返礼品制度は、昨年度が1番の最高件数と最高金額を記録している。コロナ禍が収束すれば観光商品の需要増も期待される。

問 2025年のテーマパーク開業に向けそのチャンス

を逃さぬよう、農産物の充実や商品開発、そこに来場される方々にどんな村の特産品が消費されるような仕組み作りを今からしっかりと取組まなければならない。自主財源の投資的活用も視野に入れ、地域内経済の好循環を如何に確立するかや商品開発の組織をどう作るかなど早め早めの仕掛けが必要。本村は抱える問題も多々あるがチャンスも多々ある。そのチャンスをしっかり掴み取りながら、今後村民が住み良い、豊かになつたと実感できる村づくりをしていく為にも、様々な課題を乗り越えていかなければならない。村のかじ取り役のリーダーとして村長に伺う。

答 村長

これまでの量的削減という行財政改革ではなく、明確なビジョンに基づく行政運営、成果志向、効率的な行政運営、あえて行政経営と表現させて頂きたいが、今後はそのように移行して取り組まなければならない。行政サービスを低下させる事は断じて許されない。全庁的に横断的な行政運営を図り、財政の長期的な安定ふるさと納税、企業版ふるさと納税も今後取り組む中で、テーマパークの着工を来年4月から予定している。そういう中で農産物の取引や商品開発など村内経済が回るスキーム構築を図らねばならない。全ての職員が目標達成に向け意識を持ち、村政発展に繋がる仕組みを今後全庁挙げて取組んでいきたい。





玉城 みちよ 議員

問1 村民に優しい施設の改善

足腰の弱い高齢者や障がい者に不便が生じている総合運動公園ホッケー場管理棟内の公共施設のトイレを利用者の利便性やバリアフリーの観点から、現在の和式から洋式へリフォームの改善の必要性について伺う。

答 社会教育課長

洋式便器が一つ、和式便器が二つある。

答 教育長

建築当時から生活様式の変化や高齢者等の利便性を考慮すると改善は必要であり、バリアフリー化を含めた施設改修には調査研究し取組んでいく。

問 管理棟の女子トイレには、高齢者や障がい者が安心して利用できる洋式トイレ

問2 北山高校への持続可能な取組支援

算を財政課と調整しながら改善に取組んでいきたい。

答 村長

スポーツ、文化、学業面において貴重な人材育成を担う県立北山高校だが、昨今の部活動においても駅伝部の県新記録や野球部の活躍など素晴らしい実績を残している。北山高校を選び進学してくる生徒が、さらに魅力を感じ活躍できる支援策として、新たにふるさと納税枠に追加し持続可能な取組ができないか伺う。

問3 インフルエンザ予防接種

高齢者や重い障がいを抱えている方が感染すると症状の重症化や命の危険性をも危惧されることから、現在の予防接種補助額を見直し、高齢者や重い障がいを抱える方への自己負担の更なる軽減は。

答 村長

第一次産業が占める割合が24%で、村民を支える大切な基幹産業として役割を果たしている。活用可能な支援事業等の調査研究に努め課題解決に取組んでいく。

答 教育長

使途を限定するふるさと納税への新規項目追加については財政需要が旺盛な現状も踏まえ検討していく。

答 村長

本村はもとより全国的に昨年度から感染の流行が見られない状況にある。補助額の見直し時期については調査研究していく。

問4 農水産業担い手支援住宅整備

答 経済課長

今後想定される大型事業がかなり続くので、財政面も含め、慎重に検討していきたい。

答 社会教育課長

貴重な意見と捉え今後の大会等で皆さんに適切なサービスができるように予定

問 村グラウンドゴルフ大会が村内高齢者134名の参加、さらに北部地区大会では、156名が集い高齢者の健康増進や地域交流を行っている。この参加人数からしても洋式トイレが一つでは、トイレの待ち時間やトイレの我慢から引き起こす健康被害が充分考えられ、早急な改善に向け見解を伺う。

問 特に今回の駅伝部の活躍は新聞メディアにも大きく取り上げられ、過去の活躍された先輩達からバトンが渡された証しでもあり、地域や村出身者、OBらの声であり、生徒の夢の後押し

問 特に今回の駅伝部の活躍は新聞メディアにも大きく取り上げられ、過去の活躍された先輩達からバトンが渡された証しでもあり、地域や村出身者、OBらの声であり、生徒の夢の後押し



吉田 清尊 議員

問1 軽石の早期除去と古宇利漁港・運天漁港の施設整備促進

小笠原諸島近海の海底火山噴火で今帰仁村の海岸に大量の軽石が漂着している。

今帰仁漁業協同組合員や観光業、村民が大変困っている。軽石除去を迅速に実施するか、村長の見解は。

今帰仁村の水産業発展には、漁港の施設整備の充実・強化が不可欠である。古宇利漁港の小型で古い漁船巻き上げ機を新しい大型への取り換えと漁港のスロープの海側への拡大整備。左右の護岸と港湾側に係船・係留する新たな施設整備。新たに給油施設と製氷機と氷貯蔵庫を設置していただきたい。運天漁港の西側岸壁に係

船・係留する施設整備工事実施を。対応を今帰仁漁業協同組合員は待ち望んでいる。沖縄県、国に働きかけ取組む村長の見解は。

答 村長

漁船等の支障となる流入軽石については迅速な対応が必要と考え、災害復旧事業による応急工事を進めている。また、災害復旧事業に該当しない漁港海岸へ漂着した軽石は、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業を活用し回収等を行う計画。引き続き関係機関との連携、支援要請に努める。古宇利漁港及び運天漁港の施設整備の計画は、現在進めている漁港整備事業を着実に進め、計画については、

漁業組合と連携し事業計画策定に取組み、関係機関へ要望していく。

問2 村立図書館と児童館の創設実現で心豊かな今帰仁村

現在の村立図書館はとも狭く交通の便も良くない。村役場新庁舎建設で空く、保健センター、中央公民館、「コミュニティセンター」等を活用し、甦らせて新今帰仁村立図書館と今帰仁村立児童館の創設をぜひ実現していただきたい。図書館と児童館は教育力の向上、子育て支援、生涯学習、人材育成と福祉の向上に多大な貢献をする重要な施設。創設計画について見解を伺う。

答 教育長

『今帰仁村立図書館』については、既存公共施設の活用や新設することについて、調査研究し計画する。今帰仁村立児童館は、現在、創設する計画はない。

問3 役場会計年度任用職員の給与・賃金引上げと待遇改善を

日本郵便の契約社員らが求めた訴訟で最高裁判所は扶養手当や有給の病気休暇などに「不合理な格差で違法である」として契約社員にも認める判断をした。今帰仁村役場の会計年度任用職員の給与・賃金等の引き上げと正規職員と同様に扶養手当、住居手当、有休の病気休暇、家族看護休暇等の待遇改善、福利厚生充実を認めていただきたい。給与・賃金が少なく経済的に厳しい状況にある。給与・賃金の引上げと諸手当の支給と、各種の待遇改善に取組む村長の見解を伺う。

答 村長

会計年度任用職員制度の導入は総務省が示したマニュアルが基となっている。新地方公務員法で一般職の地方公務員と明確になった。会計年度任用職員の勤務条件は、職務給の原則、均衡の原則等に基づき、国の非常勤職員との権衡の観点を踏ま

え、国の制度内容に沿った条件の整備が行われている。

問4 仲宗根地区の道路と排水路整備工事の促進

私は先に「仲宗根地区の道路と排水路が未整備で周辺の多くの村民がとも困っている」と議会で一般質問した。その後、道路と排水路の整備工事の予算が計上され、今帰仁村が整備工事に着手した。改めて一般質問する。道路と排水路整備工事はどこまで進んでいるか。整備工事の経過と今後の整備工事計画と工事完了時期について村長に伺う。

答 村長

仲宗根地区の道路、1号・3号・4号は、現在施工中で令和4年2月19日完成予定です。2号道路・1号排水路は令和3年5月10日に完成。2号排水路は令和2年11月30日に完成している。現在行っている道路整備、排水路整備事業は、令和3年度で完了となる。



議員 常次 儀與

問1 慰霊塔施設「平和公園(仮称)」の改修工事

今帰仁村の慰霊塔は設置から半世紀以上が経過し、老朽化が進み景観上の問題があるが、管理作業がしやすく誰でも集うことができる平和学習の場としての平和公園(仮称)の整備計画について伺う。

答 村長

平敷地内の慰霊塔は、昭和30年に建立され66年が経過し、老朽化が進んでいる。今後、耐力度調査などを行い改修、再建築等を検討していく。「平和公園(仮称)」については新たな大型事業となるので補助金の活用等を含め調査研究する。

問2 北山高校駅伝部について

どうして北山高校駅伝部顧問を支援する会から議会への陳情書を学校側に取り下げするように言ったのか伺う。

答 副村長

そのような事実はない。

問 では電話したことは事実か伺う。

答 村長

電話したことは一切ない。

問 どうして令和3年9月定例会の私の一般質問を取り下げるように駅伝部顧問へメールをしたのか伺う。

答 副村長

村長は役場公式メールアドレスを使用していないのでそのような事実はない。

問 令和3年9月定例会で北山高校駅伝部の一般質問をして後から議会のたびに4・5回ほど議会全員協議会において私に対していろいろな行為がありました。村長の指示によるものか伺う。

答 副村長

議会全員協議会に出席していないので、内容は把握していない。

村長や元保護者が学校(北山)顧問に行った行為はどのような罪にあたるのか伺う。

答 副村長

どのような罪かは司法の判断に委ねる。

問 一刻も早く解決するためには非、司法の場を検討して下さい。そうでないと皆様方が学校側や私にいつまでもいろいろな行為を繰り返す終わらないと思うので。

答 副村長

検討しているところである。

問 県議会へ送った陳情書は内容が正しいのか伺う。

答 副村長

県議会のホームページを見ると、県議会では現在受理され第三者委員会において調査が行われると伺っている。

問 今帰仁村で頑張っている子ども達は社会全体で支えているという強いメッセージを発信していくべきと思うが、村長はどのように考えているのか。

答 副村長

私も全く同じ考えである。

問 前に駅伝部の子ども達が村長に直に持ってきた文書を読んでどう感じたか伺う。

答 村長

顧問、生徒3名が来られ、話し合いを持ったが要望の1点目については目的は達成できたが、もう1点については双方折り合いが合わず目的は達成できなかった。

電話したことは一切ない。村長から文書では、内容によつては「侮辱罪、威力業務妨害罪、名誉棄損、傷害罪」で司法の場において対応することも検討したいと考えたとあるが、これはどのような罪にあたるのか。また、



島袋 誠 議員

問1 コミュニティスクール設立にむけて

令和2年第4回定例会でも同様の一般質問をし「どのようなものが本村に合うか研究しながら検討していきたい。」とあったが進捗状況を伺う。

用する計画はあるか伺う。

答 学校教育課長

募集期間が例年5月頃から始まっているので、学校と調整しながら、必要に応じてCSマイスター派遣依頼をやつていきたい。

答 教育長

兼次小学校にて学校運営協議会の趣旨を踏まえ、学校評議員の増員と先進校の視察研修を検討している。

問 沖縄県の導入状況は12.5%で先進地としては沖縄市・うるま市、それに続くのが名護市と理解しているが、国頭郡区内ではまだ取組んでない。専門家(CSマイスター)の派遣事業を活

用する計画はあるか伺う。

答 教育長
地域・村民への周知を図るといふ事が、コミスク導入にむけて鍵になると考えている。まずは兼次小学校と研究を重ね、行政と学校

だけでなく村民と一緒に考えながらやつていきたい。

問2 本村における地域情報発信・行政情報発信

LINEはいつ開設し、現在登録者数は。

答 総務課長

令和3年5月21日開設し、1月20日現在で1,053名の登録がある。

問 開設半年あまりで千名を超えているというのは情報発信の効果が期待できるが、更新方法として他のSNSを活用する計画は。

答 総務課長
広報担当者も頑張つて発信している状況なので導入してまだ半年という事もありまだ検討はしていない。

問 他のSNSを用いる事は、村が伝えたい情報を拡散につなげられるので、担当する職員の負担にならないような方法を考えて検討していただきたい。新たなツールとして地上デジタル

放送で身近にあるテレビを通して発信を行う予定はないか。

答 総務課長

パソコンやスマホをお持ちでない方についてはテレビを使って情報を得るといふのは素晴らしい提案だと思う。導入している地域住民の満足度や活用度を調査したい。

問 高齢者にとって身近にあるテレビで知りたい情報を得られる。新型コロナウイルスの状況やワクチン接種の案内、先日あった津波警報など正しい情報を伝える手段として住民サービスの向上につながるかと考えるが。

答 村長
テレビのdボタンを使用して気軽に情報を得るといふ事は、情報弱者が手軽にできる手段だと理解している。先進的に進めている自治体の事例も参考にしながら調査していきたい。

問3 本村におけるハブ対策事業

過去5年間のハブの捕獲

数を伺う。

答 住民課長

平成28年279匹、平成29年326匹、平成30年332匹、令和元年299匹、令和2年が443匹となつており、約98%がタイワンハブである。

問 これまで村議会でも多数の議員が質問をし、村当局も駆除に取組んできたことは理解している。沖縄県においても外来種対策行動計画に基づくタイワンハブ防除計画を令和2年3月に作成はしている。現在、村の持ち分の一括交付金を財源に駆除対策に充てているが、やはり県にも予算確保を求めるべきかと考えるが。

答 住民課長
村民の皆様にも協力いただき捕獲数は伸びているが、予算面は課題でありこの事業を継続的に続けられるか不安もある。県には担当者を通じてタイワンハブに特化した予算を伝えているが、近隣の名護市、本部町とも連携し声を挙げていきたい。



山城 太 議員

問1 農業振興

害虫防虫ネット購入支援について伺う。

答 村長

生産農家からの情報収集や、関係機関との意見交換及び連携を図り、防虫ネット設置支援が可能な補助事業等の導入に向け検討する。

問 赤色ネットが非常に有効だと思うが、多くの農家がネットを購入出来たら振興に役立つのではないか。

答 経済課長

県が調査した結果は有効であったと回答があった。また栽培当初にしっかりと駆除した上で赤色ネット等を被覆し、複

合的に防除することでその効果が得られたとのことである。

問 情報交換や関係機関との意見交換だが、コロナ禍の中大変だと思うが、日程や予定は何時なのか。

答 経済課長

ファックス等で情報を共有している。県からの資料等についても農家の方々へ情報提供を行う。

問2 県高校駅伝

村発着で開催の大会だが、村は大会開催をどう考えているか。

答 教育長

村内児童生徒への好影響や、一定程度の経済効果が

推測される。また各種メディア等で「今帰仁村」や「今帰仁村総合運動公園」の名称が報道されることにより、村の宣伝効果が得られる。

問 経済効果が推測されたとあったが、調査等は行ったことがあるのか。

答 社会教育課長

調査したことはない。

問 経済効果を期待しているのか。

答 社会教育課長

経済効果とプラスアルファは期待出来ると思う。

問 であれば、調査は必要ではないか。

答 社会教育課長

高体連の方と確認しながら、経済効果が見込める取組みを考える。

問 大会開催は歓迎なのか。

答 社会教育課長

大会は歓迎することで開催している。

問 歓迎で良かったです。村として歓迎の意を表した横断幕等の設置は。

答 社会教育課長

今回は横断幕の設置はしていない。

問 今回はやっていなかったのか、例年は設置していたのか。

答 社会教育課長

歓迎の横幕を設置していないと言ったのは運動公園についてで、役場の懸垂幕には設置していた。例年だと運動公園にも設置していたが今回は設置していない。

問 大会自体歓迎、宣伝効果も経済効果も期待しているのなら、堂々と大々的に歓迎の意を表しても良いのでは。

答 社会教育課長

次回からは諸々抜かりなく対応する。

問3 民家等からの排水処理

現状を伺う。

答 村長

生活環境の保全や公衆衛生上の観点から、適切な方法で処理することが必要で、排水溝は概ねその役割を果たしている。

問 兼次小学校のグラウンド裏の排水溝には多量の土砂が溜り臭いがする。そして北方へ繋がる道路があり排水溝があるがこども土砂が溜っているが管理者は。

答 建設課長

村道なので村管理。

問 例年区民が定期で重機などを置いて土砂の排出作業を行っている。村管理であれば対応して頂きたい。

答 建設課長

今後は管理係と調整し見回り、早めに対応する。

米軍普天間飛行場所属 MV-22 オスプレイからの水筒落下事故に対する意見書

去る11月23日午後6時45分頃、飛行中の普天間飛行場所属MV-22オスプレイの機体からステンレス製の水筒が落下した。路上に落下した水筒は底が抜け全体がへこんだ状態で民家の玄関先で見つかった。これまでのところ、人的・物的被害の情報はないものの、住民居住地上空での飛行中の事故は人命に関わる大惨事につながりかねない。

このような部品等の落下事故に限定しても、昨年7月13日のCH-53Eヘリコプターの渡名喜島沖合での鉄製コンテナの落下、8月12日にはMV-22オスプレイの中部訓練場と普天間飛行場間飛行中の機体パネル落下など、事故が頻発している。このような状況は、米軍の落下事故を防ぐ飛行運用管理、安全管理、危機管理能力が欠けていると言わざるを得ず、これを解決するには、米軍航空機等の住民居住地上空の飛行を禁止するしかない。

今回の事故により、住民の生命・財産が今もなお脅かされている現状が浮き彫りとなった。これまで米軍による事故については、その都度実効性がある再発防止策を講じるよう要請しているにもかかわらず、事故発生から迅速な連絡もなく、事故後も通常どおりの運用を続けていることは住民の人命軽視の表れであり、今回の事故が発生したことにより強い憤りを禁じ得ない。

よって、今帰仁村議会は住民の尊い生命・財産及び安全・安心な生活を守る立場から、MV-22オスプレイによる水筒落下事故に対し厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実施されるよう強く要請する。

記

- 1 事故発生時の住民への迅速で正確な通報と情報公開を徹底すること。
- 2 日米両政府の責任の下、事故の原因究明及び実効性のある再発防止策を講じること。
- 3 日米地位協定を抜本的に改定し、航空法等の国内法令の適用を強く求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年1月7日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

宛先 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣 沖縄基地負担軽減担当大臣
外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長

威圧や暴力行為等の防止に努める決議

私たち今帰仁村議会議員は、村民の負託を受けた代表者であり、高い倫理性と責任をもって議員活動を行うことが求められている。

私たち議員が、役場職員をはじめ、村民や関係機関へ自身の地位を利用し、威圧的な行為等をとることは弱い立場の方々への配慮に欠けた行為であるとともに、村民との信頼関係を損ない、ひいては議会活動に支障を及ぼしかねないことであり、断じて許される行為ではありません。

また、今帰仁村議会議員は政治家たる以前に一人の社会人として、今後ともハラスメント(パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等)、DV、児童虐待等の威圧や暴力による行為は断じて許すわけにはいかず、毅然とした対応を行っていく。

よって、今帰仁村議会は、上記で述べた行為等を排除し、その防止のための対策を講じることをここに決議する。

以上、決議する。

令和4年1月7日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

なきじん

コ	カ	自	ろ	の	の	を	そ	師	
よ	ッ	行	が	の	と	じ	切	の	私
く	コ	モ	カ	ハ	キ	カ	リ	理	は
み	よ	お	シ	モ	ニ	ク	ニ	由	り
さ	く	空	コ	キ	美	シ	行	は	た
水	切	さ	よ	ッ	空	テ	ッ	リ	の
た	ッ	ん	か	て	師	も	た	前	で
い	て	の	ッ	い	の	ッ	と	か	す
で		か	た	る	人	ッ	キ	み	。
す	れ	み	か	と	か	て	に	の	美
。	ッ	モ	ッ	コ	カ	ソ		け	言

◎ 将来の夢



学校名 兼次 小学校 6年
氏名 新里 美葵

なきじん

た	る	ア	テ	ば	治	た	に	す	に
い	ま			せ	し	リ	な	。	関
と	で	次	保	た	て	し		理	わ
思	の	の	護	い	飼	た	た	由	る
い	こ	飼	犬	か	い	ら	り	は	任
ま	と	い	な	ら	主				事
し	も	主	と	で	と	病	元	動	が
た	や	が	を	す	動	気	気	物	し
。		見	あ	。	物	ほ	か	か	た
	て	つ	お	ろ	を	と	な	病	い
	み	か	か	し	喜	を	か	気	下

◎ 将来の夢



学校名 今帰仁 小学校 6年
氏名 宮里 紅花

なきじん

た	か	け	リ	リ	な	い	や	人	師
え	ん	て		そ	時	か	希	た	で
て	者	あ	は	ッ	期	ら	望	ち	私
い	に	げ	け	て	で	で		を	。
る	生	た	ま	元	も	す	元	支	理
か	き	り	し	気		。	気	え	由
ら	る	す	の	を	か	ま	を	た	は
で	希	る	言	あ	ん	た	あ	り	
す	望	な	葉	た	者		た	病	
。	を	ど	を	え	に	大	え	勇	気
	あ		か	た	よ	変	た	気	の

◎ 将来の夢



学校名 今帰仁 小学校 6年
氏名 諸喜田 芽衣

なきじん

医	い	算	頑		た	で	気	な	関
療	た	数	張		そ	い	も	を	係
の	り	の	り	の	か	多	私	な	者
事		授	た	た	ら	く	か	ら	に
を	図	業	を	い	め	の	見		な
学	書	を	事	は	日	。	の	け	分
館	こ	に	ち		ご		命	こ	ら
こ	と	行	ん	理	ろ		を		な
で		と	科	か			助	1	り
す	て	聞	や	ら			け	人	病

◎ 将来の夢



学校名 天座 小学校 6年
氏名 久田 塔子

現場踏査

◎現場踏査は村が発注した事業、及びその他の事業の進捗状況を直接現場に出かけて調査するもので、定例会の会期中に行われています。



軽石被害状況調査(字今泊港川河口付近)

11年以上在職で、山城太氏を表彰「自治功労」

村議会議員として11年以上在職し、議会活動に貢献した功労で山城太氏が自治功労章に輝いた。その伝達式が関係者が見守る中この程、村議会議場で行われ、座間味薫村議会議長から表彰状が手渡された。



多年議会議員

議会だよりにおける一般質問の編集について

議会だよりに掲載している一般質問については質問した議員自身が村民の皆様に伝えたいことを要約・編集して掲載しております。

私たち広報委員会はその中の誤字脱字などのチェック及び内容の文言等に明らかな相違があると認められた場合は議事録と本人に確認し訂正する作業を行っております。

ページ数や文字数の限りがある中で一部割愛させていただくこともございますが、何卒ご理解いただけますと幸いです。

今後とも皆様にご愛読いただけますよう努めてまいります。

今帰仁村議会広報特別委員会



村内小中学校生議会傍聴

12月16日、天底小学校6年生が社会科の授業で「暮らしの中の政治」について、14日・16日・20日、今帰仁中学校3年生は、「現代の民主政治と社会」の授業の一環として、教科書や教室の中だけでなく村のために働く人たちがどのような話し合いをしているのか、ホンモノを見て・聞いて深い学びの授業を実施したいと、感染症対策を講じながら議会を傍聴しました。



天底小学校 6年1組 12月16日



今帰仁中学校 12月14日

編集後記

◆今までと異なる生活様式となり2年が経過している。いつか元通りになるだろうと願うのだが、もどかしい時間ばかりが過ぎていく。

昨年は中止になったが、第15回今帰仁ダスク桜まつりは一部縮小はされたものの開催された。1月29日から2月6日の9日間は天候には恵まれない日もあったが、今帰仁城跡内の桜はまつりに合わせるよう見事に満開に咲き誇った。楽しみの中のひとつである桜と城壁のライトアップも初の試みであるオンライン開催でライブ中継で配信された。ご当地に行けなくても世界中から鑑賞することができ、見逃した方はYouTubeにてご覧いただきたい。

動画配信で何十万回、何百万回再生という話題をよく耳にするが、2月末時点で約2,000回となかなか思うように伸びていかない。チューバーという仕事は簡単ではないなあと思感させられる。

広報委員 島袋 誠